

HUMAN PHILOSOPHY

経営理念

私達がめざしているのは、売る／造る側の論理でなく、使用する人の立場に立った物づくりです。
国内キャビネットメーカーとしては、おそらくもっとも規模の小さいメーカーでしょう。

しかしながら、私どもの製品とサポート姿勢が多くのユーザー様に適正に評価され、会社規模にしては異例の実績を築き上げ、今日まで至っているのが何よりの証しでもあります。
出来合いの製品を押し売りするのではなく、ユーザー様のリクエストにレスポンス良く応え、かつ適正なコストで供給することを第一理念とし、今後もまい進していく所存です。

弊社の製品及びサポート体制は必ず貴社の期待に応え、貴社に利益をもたらすことでしょう。



COMPANY INFORMATION

会社概要

商号	株式会社ヒューマン
所在地	相模原事業所 〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台 1-5-17 TEL : 042-749-8891 FAX : 042-749-8858 URL : https://www.humanrack.co.jp 本社 〒194-0013 東京都町田市原町田 3-3-27-1812
事業内容	電子機器用標準キャビネットラック製造・販売 IT・ネットワーク関連機器設計・製造・販売
設立	平成5年6月7日
資本金	1000万円
決算	年1回(7月31日)
代表者	小嶋 辰也
従業員	17名

PRODUCTS INFORMATION

営業概要

取引銀行	三菱UFJ銀行	成瀬支店
	みずほ銀行	新宿支店
	山梨中央本銀行	相模原支店
	きらぼし銀行	大沼支店
営業品目	JIS 規格 JISC6010、EIA 規格 EIA RS-310C 準拠 システムラック (19 インチ、24 インチ) サーバラック (サーバマシン収納架) LAN ラック (ネットワーク機器収納架) マルチラック (ネットワーク統合配線架) オープンラック フレームラック デスクラック コンソールデスク 上記に付随するシステムの機構設計・製造	
顧問	特許 磯野国際特許商標事務所 弁理士 磯野 道造 税務 横田会計事務所 税理士 横田 章憲	

EQUIPMENT INFORMATION

設備概要

相模原事務所	敷地 1468.08 m ² (444.09 坪) 建物 2418.90 m ² (733.0 坪)
事務機器	オフィス AD サーバ- SYSTEMCloud Salesforce Cloud CAD システム EXPERT AUTO CAD , AUTO CAD LT 3D CAD SOLIDWORKS ネットワーククライアント hp , DELL 他 複合機 / プリンター各種 (リコー製)
機械設備	NC タレットパンチプレス EM2510 M II (アマダ製) 自動プログラミングシステム AMACOM AP(アマダ製) プレスブレーキ RG-80S(アマダ製) シャーリングマシン DCT-2545(アマダ製) パワープレス SPH-30(アマダ製) スポット溶接機 TS-86K(アマダ製) スポット溶接機 ENL-25-AI(アマダ製) 金型研磨盤 TOGUIII(アマダ製) NC ベンダー FDB1025NT(アマダ製) 追従装置 WS2000(アマダ製) アルゴン溶接機 AES-200(ダイヘン製) 半自動アーク溶接機 XC-200(ダイヘン製) コンプレッサー Z-11(MITSUI SEIKI 製) コンプレッサー Z-08(MITSUI SEIKI 製) アルミサッシ切断機 CS-100(MASUDA 製) アルミサッシ NC 加工機 SWS5000(SAWAIRI ENG 製) アルミサッシ NC 加工機 ONDV8-30(オリンピア技研製) アルミサッシ NC 加工機 SWS6000(SAWAIRI ENG 製)
輸送設備	2トン積載荷物用エレベータ (横浜エレベータ製) 2.5トンフォークリフト (ニッサン製) 1.3トン電動プラッター (トヨタ製) 2トントラックアルミバン (いすゞ製) 1トンバン (日産製) 0.5トン商業バン (トヨタ製)

HISTORY

沿革

- 1993年5月 ● 会社設立、「株式会社ヒューマン」を町田市つくし野に本社登記、電子機器用 19 インチラック製造・IT関連機器製造販売・製造拠点として相模原市麻溝台 6 丁目に相模原事業所をオープン。
- 1994年2月 ● 構内ネットワーク構築専用の統合配線架「マルチラックシリーズ」を開発・販売開始。
- 1995年12月 ● 相模原事業所に生産稼働効率化の為、オリンピア技研製多軸ヘッドの長尺 サッシ加工機を導入。
- 1999年2月 ● 旧郵政・文部両省の地域事業「学校インターネット構想」において、システムラック「R54 シリーズ」が標準選定仕様キャビネットに選ばれる。
- 2000年4月 ● 業績・生産台数の増加に伴い、新たな商品管理・物流拠点として相模原市当麻に当麻倉庫を稼働、製品ストック 200 架余の許容稼働の実現化。
- 2000年12月 ● 相模原事業所に板金加工効率の増強にてアマダ製高速タレットパンチプレス「VIPROS355」を導入。
- 2001年1月 ● 19 インチ関連商品「TFT キーボードユニット」の開発・販売開始。
- 2002年7月 ● 旧相模原事業所と当麻倉庫を統合し、新たに同相模原市麻溝台 1 丁目に相模原事業所を移転。これにより従来の拠点スペースから3倍規模の事業所規模となり、本格的な製販一体の事業展開が確立した。
- 2004年2月 ● 小型簡易ラック「PC-BOX」シリーズ、開発・販売開始。
- 2007年5月 ● 現相模原事業所内の工場棟の改築、生産稼働スペースの拡大によって更なるニーズ対応の迅速化を実現。
- 2008年1月 ● (株) エーピーシージャパンとの業務提携、APC ラック製品の取扱い開始と、同社 NetShelter スタムソリューションにも着手。
- 2008年10月 ● 環境問題やエネルギーソリューションに柔軟に対応が可能な次世代型の情報通信向けキャビネットラック「CPMR シリーズ」「ICT ラックシリーズ」の開発・ラインナップ化に着手。
- 2013年1月 ● 電力消費削減の取り組みとして、構内 (工場棟 / 事務所棟) 全ての照明を LED に交換する。
- 2014年7月 ● 生産能力増強および効率化のため、最新鋭長尺アルミサッシ加工機 SWS-5000 を導入。
- 2015年7月 ● 生産性向上のため、タレットパンチプレスをアマダ社製 EM2510M II に更新設備。
- 2015年9月 ● 顧客満足度向上およびサテライトワーク支援の為、営業販売ツールとして Salesforce Cloud を導入。
- 2016年2月 ● 配線器具メーカー大和電器株式会社とのアライアンスにて冗長識別用コンセントパーシリーズを開発。
- 2016年12月 ● 本社を町田市つくし野より町田市原町田4丁目へ移転。
- 2017年1月 ● SOHO、大学、研究機関向けサーバラック F60 シリーズを開発、販売開始。
- 2018年9月 ● 19 インチラック搭載用 タレット PC コンソールユニット開発・販売開始 (特許出願)。
- 2019年1月 ● ものづくり補助金を活用し、最新鋭長尺アルミサッシ加工機 (2号機) SWS-6000 を導入。
- 2019年8月 ● ITラック用DCIMソリューション強化のため、株式会社エニイワイヤ社とパートナー契約を締結。
- 2022年11月 ● 本社を町田市原町田4丁目から町田市原町田3丁目に移転。
- 現在に至る